

施策評価管理シート

2019(令和元)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	4	魅力的な都市環境づくり		
	施策	2	都市計画		
				都市整備部	谷本 浩司

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題

Plan

○ 分散型から集約連携型の都市構造への転換にあたっては、まとまりのある市街地や集落の形成と合わせて、郊外部での無秩序な開発の抑制と集約化された拠点を有機的につなぐ軸の形成が必要であることから、それぞれの拠点機能の向上による定住人口の確保と、拠点間の機能分担を支える連携の促進に向けた取組が必要です。

2. 施策の基本方針

Plan

○ 集約連携型の都市構造を目指し、歴史や文化、自然資源など地域特性を生かした暮らしのまちとして質の高い都市環境の形成に向け、都市マスタープランに基づき、環境、福祉、教育、文化などの分野や地域づくりの取組と連携しながら、多様な生活様式に配慮した、持続可能な魅力ある都市づくりを進めます。
○ 「名張らしさ」を大切にしながら、地域の特性に応じた個性豊かな景観の保全や創造など、美しい市土を形成するために、地域住民と協働して、景観形成を進めるための計画や制度の充実に取り組めます。

○施策指標(目標)及び達成状況

Plan Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
自分が住む地域におけるまち並みなど景観や環境が良好であると感じる市民の割合 (%)	目標	-	-	-	75.7	
	成果	73.7	75.9	70.6	74.2	25.0%
国勢調査における、市全域人口に対するD I D(人口集中地区)人口の割合 (%)	目標	-	-	-	55.0	
	成果	54.0	55.4	55.4	55.4	100.0%

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度～30年度)

Plan Do

・名張市用途地域等見直し方針を踏まえ、地域が主体となって将来の地域像及び必要なルールを検討していただく体制づくりを促進し、地域組織との協働により用途地域及び地区計画の原案作成を進めるとともに、合意形成が整った地域は都市計画法に基づく手続きに着手しました。
・名張市都市計画道路見直し方針に基づき、廃止対象となった路線のうち、3路線について関係地域住民への説明会を開催し、廃止の手続きを行いました。
・地域組織をはじめ市民、事業者等を対象とした景観まちづくり講座を開催し、景観まちづくりの普及啓発に努めました。

4. 成果を踏まえた課題や現状

Check

・集約連携型都市構造の実現に向けた都市機能の配置については、立地適正化計画の策定をはじめ、公共施設、医療福祉施設、教育施設など都市機能集約化に加え、防災・減災の視点も重要であり、適正配置に向けた市内連携体制を整える必要があります。
・地域づくり組織等との協働により用途地域及び地区計画の原案作成を進めていますが、地区計画原案作成における地域住民の合意形成について、各地域に応じた住民意向の反映手法や合意形成手法の検討が必要です。
・平成28年3月に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」において、「2020年度を目途に主要な観光地(原則として全国の半数の市区町村)で景観計画を策定」することが示されるなど、策定期間について配慮する必要があります。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)

Action

・立地適正化計画策定については、幅広い分野の計画や施策が関連するため市内連携体制を構築し情報共有に努め、集約連携型都市構造の実現に向けた検討に取り組めます。
・計画的で秩序ある土地利用を推進し、都市機能の集約、住環境の保全など、暮らしのまちとしての魅力を高めるため、各地域組織との連携による用途地域等の検討を進めていますが、未着手の地域においても取組が広がるよう進めます。
・地域の特色を生かした美しい都市づくりに向け、地域が主体となったまちづくりと連携した景観まちづくりを推進します。

6. 行政評価委員会による総合評価

Check

都市機能の適正配置に向け、立地適正化計画の策定を進めること。